

岩妻茂手線に関する調査の内容報告と今後の進め方について

1. 岩妻茂手線のこれまでの経過

- ・合併協議会において議論され、平成16年12月に新市建設計画の参考資料として、「同計画・資料編」に掲載された。
- ・都市計画道路岩妻茂手線の未整備である区間のうち、あさひ地区から鹿島小学校までの約400m（2工区）について、事業化の検討のために令和3年度に予備設計調査に着手した。
- ・令和3年10月13日、岩妻茂手線沿線の住民を対象とした説明会を開催した。
- ・令和3年12月17日、鹿島区行政区長会連絡会議にて説明を行った。
- ・令和5年3月、予備設計調査業務が完了した。
- ・令和5年度、予備設計調査をもとにJR東日本や国土交通省と協議を重ね、市の関係部署とも調整を図りながら方針の検討を行った。

2. 予備設計調査内容

(1) 概要

業務名：単独道路新設改良事業 道路函渠測量設計（岩妻茂手線）業務委託
 工期：令和3年6月2日～令和5年3月31日
 業務内容：測量業務、地質調査業務、設計業務（道路、アンダーパス）等

(2) 概算事業費

(億円)

項目	H19年 試算	今回試算	差
道路・BOX詳細設計費	0.5	1.3	0.8
用地費・物件移転補償費	2.8	4.6	1.8
国道アンダーBOX工事費	9.4	28.3	43.5
JR施工分アンダーBOX工事費		24.6	
道路工事費	1.3	2.7	1.4
合計	約14.0億円	約61.5億円	約47.5億円

※「H19年試算」は当時の内部資料による参考値です。

※「今回試算」はあくまで概算費用であり、実施にあつたては詳細調査が必要となります。

(3) 主な増額理由

- ①平成19年度の概算事業費の算出は、標準断面と標準単価によるものであったことに対して、今回の概算事業費の算出では、JR東日本や国土交通省との協議により工法を選定することができたことから、より精度の高い概算事業費の算

出が可能となった。

- ②地質調査の結果、軟弱地盤対策や地下水対策が必要であることが明らかとなり、それに伴う対策費を計上した。
- ③東日本大震災後、建設コスト（人件費、資材等）が大幅に上昇した。

3. 対応方針

- ・予備設計調査の結果から、現時点では事業着手を見送る方針をもっている。
- ・今後は、周辺の土地利用の変化や鹿島区市街地付近の踏切の交通利用状況等を注視しながら、地域住民と意見を交換し、対応方針について検討していく。

4. 今後の予定

下記のとおり、予備設計調査の説明や意見交換により対応方針を検討する。

<令和5年度 第4四半期>

- ・路線沿線の行政区長への説明
- ・住民説明会
- ・鹿島区地域協議会

<令和6年度 第1四半期>

- ・鹿島区行政区長会連絡会議
- ・南相馬市長期未着手都市計画道路見直し検討会

岩妻茂手線 位置図

S=FREE

資料 9-2

R6.1.26 鹿島区地域協議会説明資料
(建設部土木課)

